

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311
e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

日本伝統の手遊びを次世代へ

札幌お手玉同好会の今井さん新聞に

札幌お手玉同好会(西村寛幸会長)の名誉顧問を務める今井幸子さんが、平成 30 年 5 月 18 日付「北海道新聞」のコラム「さっぽろ 10 (トーク) 区」『極める究める』に、「日本伝統の手遊びを次世代に」のタイトルで紹介されました。(写真右：今井幸子名誉顧問)

今井さんは、子どものころに聞いた「お手玉の数え歌」を調べるために図書館を訪ね、そこで「日本のお手玉の



会」を知り、早速、会員になり、札幌お手玉同好会を発足させ、代表を長年務めてきました。その活動の様子が、語られていますのでご紹介します。

お手玉は日本の伝承文化ですもの

「2003 年の「札幌お手玉同好会」発足から代表を務め、現在も中心的な活動を担う今井幸子さん(89)。同好会は、全国組織「日本のお手玉の会」(本部・愛媛県)北海道支部でもあり、今井さんは実技指導員、公認審判員の資格も持ちます。

「お手玉には、『投げ玉』『よせ玉』『演舞』の 3 種あるんですよ。そう言うと、お手玉 4 個を鮮やかに扱って技を見せてくれました。「投げ玉しか知らない人も多くて、よせ玉を見せると、『昔、祖母がしていたのはこの遊びだったのですね』と喜ぶ方もいます」

極める究める

2003 年の「札幌お手玉同好会」発足から代表を務める今井幸子さん。現在は中心的な活動をする今井幸子さん。同好会は、全国組織「日本のお手玉の会」(本部・愛媛県)北海道支部でもあり、今井さんは実技指導員、公認審判員の資格も持ちます。

「お手玉には、『投げ玉』『よせ玉』『演舞』の 3 種あるんですよ。そう言うと、お手玉 4 個を鮮やかに扱って技を見せてくれました。「投げ玉しか知らない人も多くて、よせ玉を見せると、『昔、祖母がしていたのはこの遊びだったのですね』と喜ぶ方もいます」

札幌お手玉同好会名誉顧問 今井 幸子さん(89) 白石

「お手玉は女の子が代々伝承してきた文化」と話

「お手玉は女の子が代々伝承してきた文化」と話

「お手玉も今井さんの自作。これまでに 3 万個を作りました。鈴やおはじきを中に縫い込んだお手玉もあり、投げ上げるだけできれいな音が響きます。

同好会は月 2 回の例会のほか、市内各地の児童会館や小学校などで遊び方を教えてお手玉の普及・伝承に取り組んできました。

現在の会員は約 30 人。今月 24 日には、同好会として 6 年ぶりの講習会を、白石区民センターで開きます。

「以前、定期的に行っていたミニ講習会が、当時の会場の関係で開けなくなってから新規会員がいなくなって…。会員は今は多くが 80 代。若い人を含め、多くの人に仲間になってもらいたいんです。お手玉は日本の伝承文化ですもの」(大倉玄嗣)

この記事で、講習会の案内をしていただいたおかげで、約 100 人の参加があり、10 名の方が新会員に加わっていただきました。(写真左上：「北海道新聞」コラムさっぽろ 10 区)

* 講習会の様子は、「たまちゃん通信」平成 30 年 8 月発行 102-4 号で紹介しています。